

消防ポンプ操法競技大会で市消防団第1分団(日川)が大活躍～第53分団(別所)も健闘～



鹿行地区大会・中央大会の様子

10月21日、潮来市前川運動公園で第74回茨城県消防ポンプ操法競技大会鹿行地区大会が開催され、市消防団第1分団(日川)がポンプ車操作の部に出場。見事優勝しました。

また第53分団(別所)は小型ポンプ操法の部に出場し、敢闘賞を受賞。技術の向上はもちろん団員の結束力をより強固なものとししました。

今回の結果を受けて第1分団は、11月25日に県立消防学校で行なわれた中央大会に出場し、敢闘賞を受賞。第1分団の小林分団長は「練習を始めたときは、県大会に出場できるとは想像できませんでした。約4カ月間の訓練に選手一人ひとりが耐えて得られた結果だと思います。本当にありがとうございました」と喜びのコメントを寄せてくれました。

矢田部総有地管理会から教育資金の寄付

矢田部総有地管理会から、植松小・やたべ土合小・波崎第二中・波崎第四中学校に教育振興の資金として、計100万円が寄付されました。この寄付は2004年度から続いており、今回で19回目となりました。

学校図書を購入費として活用し、子どもたちの学習活動に役立てていきます。ありがとうございました。



左から 原利和理事兼監事 原孝英理事兼監事 石田市長 安藤隆雄会長 安藤真一会計 木之内教育長

夢のひろば須田でチューリップの球根植えをしたよ！

市民ボランティア「花と緑の会」の皆さんが、11月上旬にチューリップの球根約25,000球を夢のひろばに植えました。今年も須田幼稚園と須田小学校の子どもたちがお手伝いに来てくれました。開花予定は3月下旬。開花の状況は、市のホームページやX(旧Twitter)などでお知らせしますので、ぜひ見に来てください。



消防出初式

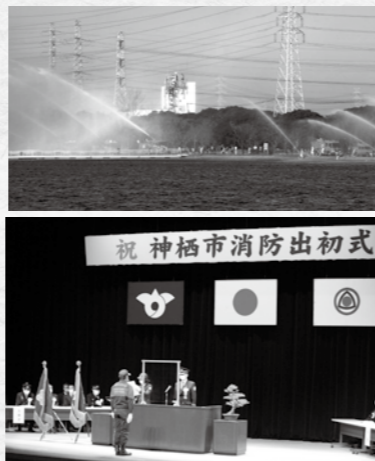
☎ 防災安全課 Tel.0299-90-1149

新春恒例の消防出初式を開催します。この行事は、消防職団員の士気高揚を目的に毎年行なわれているものです。アトラクションもありますので、ぜひお越しください！

なお神栖市消防団の団員数は、現在853人。市民の安全を守るため昼夜問わず、消防活動に当たっています。入団希望者がいましたら、ご連絡をお願いします。

日時 1月8日(月・祝) 午前9時～ 場所 文化センター、神之池

式典	● 消防団員などへの表彰
内容	● 太田保育園幼年消防隊による防火の誓い
	● アトラクション
	● 防火クラブ員、消防団・消防署・企業防災隊の車両による行進
	● 第1・53分団による模範操法
	● 神之池への一斉放水



昨年度消防出初式の様子

茨城県表彰 受賞おめでとうございます



原 範子さん (農業)

長年にわたり、女性農業士として指導的役割を果たし、地域農業の振興に尽力するとともに、小・中学生を対象とした食農教育活動に精力的に取り組むなど、茨城県農業の発展に寄与されました。

また家族経営協定の締結やエコファーマー・認定農業者の共同申請を行なうなど地域のモデル事例となってきたほか、農協理事、農業委員さらに各種審議会委員を務め、豊富な知識と優れた識見により、地域・社会の発展に大きく貢献されています。

秋の叙勲・褒章 受章おめでとうございます

瑞宝双光章 (消防功労)



茂木 正男さん (元 鹿島南部地区消防事務組合消防司令長)

消防職員として国民の生命、身体および財産を火災などの災害から防御するため、長年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに、消防力の充実強化に尽力されました。消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。

瑞宝単光章 (統計調査功労)



高木 哲雄さん (元 工業統計調査員)

1987年から2020年の間、計31回にわたり、工業統計調査員として統計調査に従事されました。そのほか数多くの統計調査の調査員として各調査に積極的に取り組み、敏速かつ正確な調査活動は他の調査員の模範となり、地域全体の統計調査の向上に貢献されました。

藍綬褒章 (更生保護功績)



勝浦 光雄さん (現 保護司)

保護司として1999年3月から現在に至るまでの永きにわたり、罪を犯した人などに対して、改善更生や生活再建に向けた指導を行なうなど、再犯防止に尽力されています。また地域における更生保護に対する理解を深めるための啓発活動など、社会福祉の向上に貢献されています。

茨城アストロプラネッツがシーズン成績とドラフト指名を報告

プロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグの茨城アストロプラネッツが、石田市長に2023シーズン成績とNPBドラフト指名の報告を行ないました。

球団として初めて支配下でのドラフト指名となった土生 翔太選手は「信頼されるピッチャーになりたい」と、また育成での指名を受けた日渡 騰輝選手は「チームを背負っていけるようなキャッチャーになりたい」と、それぞれ抱負を語ってくれました。

石田市長は、「けがには十分気をつけて頑張ってください。期待しています」と激励の言葉を送りました。

今年は、社会人よりも独立リーグ所属選手のドラフト指名が多かったといい、今後もアストロプラネッツの活躍が楽しみです。



左から日渡選手、土生選手、石田市長